

令和3年度 第1回八代市総合教育会議 会議録

(令和3年7月5日)

令和3年度 第1回八代市総合教育会議 会議録

- 【開催日】 令和3年7月5日（月）
- 【場 所】 八代市公民館（パトリア千丁）会議室A B
- 【出席者】 中 村 博 生 市長
北 岡 博 教育長
富 田 壽 人 教育委員
松 永 松 喜 教育委員
水 田 千 春 教育委員
- 【欠席者】 奥 村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 佐 藤 圭 太 市長公室長
梅 野 展 文 秘書広報課長
中 勇 二 教育部長
橋 口 幸 雄 教育部次長
福 本 桂 三 教育部次長
松 川 由 美 教育部理事兼教育政策課長
高 嶋 宏 幸 学校教育課長
竹 下 圭一郎 教育施設課長
田 中 智 樹 教育部理事兼生涯学習課長
入 佐 正 夫 教育サポートセンター所長
松 村 哲 治 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 草 野 弥 生 主幹兼教育政策係長
萩 本 誠 子 教育政策課主査
- 【協議事項】 (1) 4年間の八代市重点戦略～更なる深化～2018-2021（教育関係）～についての報告
ア 八代市重点戦略について
イ 小学校の英語教育の充実
ウ 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備
(2) 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2021-2024（教育関係）について
ア 八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
イ 八代市^{エドテック}E d T e c h 推進基本方針について
(3) 八代市教育大綱の策定について

1 開 会 (午後1時25分 開会)

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1) 4年間の八代市重点戦略～更なる深化～2018-2021(教育関係)～についての報告

ア 八代市重点戦略について

福本教育部次長 資料により説明

イ 小学校の英語教育の充実

高嶋学校教育課長 資料により説明

ウ 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備

松川教育部理事兼
教育政策課長 資料により説明

<小学校の英語教育の充実について>

水田委員 小学校の英語教育では会話が重要ではないかと思う。恥ずかしがる子供もいるのではないかと思うがどのように指導しているか。

高嶋学校教育課長 小学校の英語教育は音声中心で進められている。聞いて、話すという活動を行っている。これまでの英語教育は文法や理論などが中心であったため、まだまだ音声中心になりきれていないところがあるので、授業改善として、生徒たちが主体的に活躍する場面を多く取り、大きな声で間違いを恐れず話せるよう指導している。

富田委員 小学生の英語教育は音声中心で子供たちも興味関心を持って臨んでいるとのことだが、中学校での成績が低い(英検3級相当以上の取得率が県平均より低い)こととのギャップはどうして生まれるのか、小学校から中学校へつなげるところをどう対応しているのか。

高嶋学校教育課長 中学校の英語の成績の伸び悩みに関しては、今求められている力を身に付ける授業内容になっているのかということが一番の課題だと感じている。昔は一問一答や穴埋め方式が主であり、先生方もそういう授業を受けてきているので、どうしても自分たちが受けた方式で授業を行いがちである。そこをP D C Aなどによって検討し、授業改善と学力向上に結び付けていきたい。

市長 自分の体験からすると、英語教育が中学生からではなく、小学生の時から受けられるのはとても良いことだと思う。小学校教育が始まっているので、英語の面白さ、楽しさを子供たちに知ってもらうことが一番重要である。各学校努力されていると思うが、子供たちがこれから英語を学んでいく入り口のところなので、よろしく願います。

<学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備について>

松永委員 資料（協議事項1）の15ページに「保護者へのICT教育の啓発」とあるが、学校ごと、クラスごととか、回数などの研修内容を教えてほしい。

入佐教育サポートセンター所長 教職員の人材育成の面では、今年度はタブレットパソコン（以下「タブレット」）の導入初年度という位置づけをしている。5月14日から4週にわたり、タブレット活用の人材育成のための研修会を開催し、117名の受講があった。受講した先生が核となって各学校でスキルを広げ、使えるようにしていきたい。

高嶋学校教育課長 保護者への啓発という面では、8月22日に保護者と教職員向けの教育講演会をオンラインで開催予定である。内容は、ICTアドバイザーでもあられる小宮山利恵子氏より、「AI時代の社会・人材・これからの学びについて」と題し、啓発方法の1つとして講演会を開催する予定である。

水田委員 資料（協議事項1）の13ページに教師用の遠隔授業を行うためのWebカメラ購入とあるが、先生1人につき1台なのか。遠隔授業の実施に当たっては、家庭にいる子供と学校にいる先生とのやり取りの練習をしてほしいと思うがどのように計画しているのか。

松川教育部理事兼
教育政策課長

Web カメラ 440 台は各クラスごとに 1 台購入・設置している。遠隔授業については、各世帯のインターネット環境状況が重要になる。既に精力的に取り組んでいる学校もあるが、市で 1 学期中に全校一斉調査を予定している。各世帯にパソコンを持ち帰ってもらい、インターネットの配信状況を調査し、結果を先生方に確認していただきたいと思う。

高嶋学校教育課長

一例だが、タブレットを生徒に持ち帰らせ、ラジオ体操を通じて健康観察をする計画を立てている学校もあると聞いている。

富田委員

オンライン授業では、子供たちが相談しづらくなるのではと懸念する。先生方には教材の研究などしっかり準備をお願いしたい。

高嶋学校教育課長

Web カメラでは、双方向的なやり取りや子供たちの様子なども見ることは可能かとは思いますが、ご指摘の点については、先生方のスキルが身に付くよう、研修などに力を入れていきたい。

市長

Web カメラなどを使ったオンライン授業への対応は、現段階では教師によって対応は様々ではないのか。全体的にレベルを統一できるのか。

高嶋学校教育課長

ご指摘のとおり、活用状況には個人差、学校差がある。ICT 活用推進校の指定も予定されており、実践例や活用例を沢山紹介し、活用してもらって平均化を目指したい。

市長

ICT 授業サポーターの数の不足が問題ではないのか。推進校指定が 5 校というのもサポーターの不足が原因ではないのか。そこが大きな課題ではないか。

高嶋学校教育課長

ICT 授業サポーターは多ければ多いほど有難いのが実情である。トラブルが起きれば授業が止まってしまう。

教育長

ICT 授業サポーターは学校、先生方からの提案や要望に対応してくれるメリットもあると聞いており、必要な存在である。

市長

子供たちへのタブレットの整備は終わったのだから、レベルを揃えるために、先生方へのタブレットの配備などやるべきことは分かっていると思う。各学校で同じような ICT 環境を整備

することが大事だと思う。

(2) 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2021-2024（教育関係）について

ア 八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

橋口教育部次長 資料により説明

イ 八代市^{エドテック}E d T e c h推進基本方針について

高嶋学校教育課長 資料により説明

水田委員 (ICT活用計画や学校情報化認定などの)資料を見ていると先生方の負担が増えるのではないかと懸念する。心身の不調を来す先生はいないのか。また、そのような事態が起きた場合はどう対応するのか。

高嶋学校教育課長 メンタルの不調を起こす教職員は多い。教育の現場においても働き方改革が行われているが、ケアしながら進めないといけないと思う。

ICTの活用は時代が求めているものであり、子供たちが求められている力を身に付けるために、教職員も新しいことに取り組んで行かなければならないけれども、このことは推進していかなければならないことであると感じている。

富田委員 資料(協議事項2)の8ページに「リカレント教育の推進」とあるが、市民の要望を踏まえてのことか。

橋口教育部次長 リカレント教育の要望はあったが、そのことよりも人生100年となった今、キャリアアップや学び直しは時代の要請であり世界的な潮流でもある。

(3) 八代市教育大綱の策定について

松川教育部理事兼
教育政策課長 資料により説明

市長 スケジュール的に大丈夫か。

松川教育部理事兼
教育政策課長

教育大綱は、教育振興基本計画をもとに、そのエキスを吸い取って作るものになるが、現在、計画のほうで、関係課プロジェクトチーム会議を約2週間ごとに開き作業を進めているので、間に合うと思う。

市長

順調に行くよう頑張ってもらいたい。

本日は、多くのご意見をいただき、教育分野における現状・課題を改めて認識するうえで非常に実りあるものになったのではないかと思います。

今後とも教育委員会と市との連携を密にしながら教育行政の推進に努めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

4 その他

中部長

総合教育会議については、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で1回しか開催できなかったが、今年度は秋に第2回、3月に第3回を予定しているので、ご協力をお願いする。

5 閉会

(午後2時45分 閉会)